

令和 4 年度の取組の報告

部会名	地域の担い手づくり部会
部会の目的 (方向性)	・地域のことを地域で話し合い、魅力的な地域をつくる取組を支援する。 ・公民館等での社会教育活動を通して次代を担うリーダーの育成を進める。 ・健康長寿のまちづくりや女性の活躍する社会づくりの推進など、様々な場で地域づくりに関わる担い手やリーダーを育成する。 ・地域づくりに多様な視点からアプローチするNPO法人の育成を図り、協働してリーダーの育成を進める。
ターゲット	・地域自治組織等現在中心となって地域づくり、地区活動を進めている方（マネージャー） ・会長を支え、ともに活動を作っていく役員、部会長等（プレイヤー） ・益田市外の方で益田市への移住、定住に興味や希望のある方
令和 4 年度 進捗状況・ 前年度から の改善点 ※実績数値 が分かるよ うに記載。	連携のまちづくり推進課 ○地域自治組織を中心とした地域づくりの推進 ・デジタルアーカイブ事業（万葉の里高津未来の会×島根県立大学） ・コーヒーワークショップ（かまて地域づくり協議会×夢あふれる小野の里） ・グラウンドゴルフ大会（種むらづくり推進協議会×二条里づくりの会） ・チャレンジフェス（吉田地区自治協議会×各種団体） ・日本遺産スタンプラリー（ますだ地域づくり協議会×東中学校 1 年生） ・フルーツガーデン（とよかわの未来をつくる会×翔陽高校×益田市等）他 →地域自治組織同士の連携、自治組織主体の新たな取組の挑戦が増加 【地域マネージャー】 ・現在 3 地区 R2 二川地区、R3 都茂地区、R4 中西地区 ・各地区 2 名採用。 【まちづくり活動特別補助金】 ・前期申請数 4 申請（豊川、真砂、都茂、二川地区） ・後期申請数 7 申請（吉田、高津、二条、美濃、小野、中西、西益田地区） 【地域アセスメントの開発】 ・地域住民による地域の状態の共有、地区計画等を策定する際の参考値や各地区の状態の確認、支援効果の測定、施策設計の際に用いる参考値にすることを目的として開発中。 ○地域魅力化応援隊員連絡調整会議 ・地域住民他関係機関との連携を促進するにあたり、関係各課が本年度進めようとする事業や計画について、情報共有を図った。 5/17 実施（出席者 25 名）：業務について、応援隊員の役割について 6/14 実施（出席者 25 名）：関係人口とは、事例紹介、グループワーク 8/18 実地（出席者 17 名）：法人市民税について、グループワーク 9/13 実施（出席者 19 名）：ワーク（個人・グループ） 10/27 実施（出席者 16 名）：雲南市地域づくり団体へ視察

○地域づくり人養成講座（タクラミ塾）

若い世代に地域づくりに興味関心をもち、主体者意識を持った人たちを増やすことを目的にタクラミ塾を開催。

・8/20 オンラインで実施。

→今年度から参加者が実践できるように伴走を強化。

地域自治組織や各地区の活動への参加や実践に結びつける

○大学連携の推進

【島根県立大学】

・共同研究委託契約の締結（5事業）

1 美都地域の二川小学校跡施設 DE「笑顔と輝き再び」チャレンジ～美都地域魅力化発信プロジェクト実証研究～

2 益田市版保幼小接続カリキュラムを活用した幼小接続の取組

3 ふるさと教育デジタルアーカイブ事業

4 ワークーション客の関心・意欲の特徴に関する分析：萩・石見空港の利用促進に向けて

5 学校での体験活動とこころの成長－魅力ある学級づくりのために－

【大正大学】

・益田市内で2年生17名、3年生2名が地域実習を実施予定。

2 年生前半グループ：10/3～10/14（9名）

後半グループ：10/24～11/4（8名）

3 年生：10/3～10/21、10/28

○市民活動支援センターの運営状況

・情報発信（団体主催イベント参加、周知、ますだのひと記載等）

・相談、利用者件数

4月1日～10月14日現在 85件（相談件数67名、利用者数18名）

主な相談内容等 ・設立登記について ・事業報告書について

・活動について ・印刷機利用

○関係人口研修会

・「関係人口」の言葉の意味を知り、身近な話であると認識を持ってもらうこと。また、「受け入れる側に必要な事」を焦点にし、具体事例をもとにより明確に学んでもらい、地区の活動や取組に紐づけるきっかけづくりを目的に開催。

8/27 実施 参加者：29名

【内訳】

○年代

20代：3 40代：3 50代：5 60代：6 70代：5

○参加団体

地域自治組織会長・役員、公民館職員、NPO法人、地域魅力化応援隊員
益田商店会、益田市社協

	○ひとが育つまち益田による情報発信 ・益田で暮らしている方々の暮らしを可視化するとともに、益田のひとの生き方だけではなく、暮らしや暮らしの価値を可視化する。 ・UI ターン者サポート宣言企業の取材を引き続き実施し、仕事の魅力を伝える。 ・記事の数だけを増やすのではなく、記事の内容を深め、共感を呼び、たくさんの方々にシェアして頂き、ひとづくりに関する情報を拡散する。 ○豊かな暮らしトークセッション ・益田での暮らしを伝えるだけでなく、豊かな暮らしを伝える相談会を実施する。(全3回開催予定) 6/7 実施 第1回：ライフキャリア教育編 17名参加(22名申込) オンライン開催 7/27 実施 第2回：ライフキャリア・大学生編 23名参加(33名申込) オンライン開催 ○豊かな暮らしを考える2日 ・豊かな暮らしトークセッションで益田に来たいと思った方々が、実際に益田の暮らしの魅力を感じ、ファンになってもらうために実施する。(全3回開催予定) 6/25, 26 実施 第1回：9名参加(10名申込) 9/3, 4 実施 第2回：8名参加(9名申込) ○豊かな暮らしトークセッション in 東京 ・益田の暮らしを題材に、豊かな暮らし共に考える相談会の実施。 9/19 実施：東京からIターン、東京圏と益田市の二拠点居住について 17名参加(うちオンライン2名)
成果	○情報発信の効果によるHP閲覧件数 ・令和3年4月1日～令和4年3月31日時点 全体【ユーザー数：57,201ユーザー、ビュー数：718,274ビュー】 平均【月/ユーザー数：4,966.9人、月/ビュー数：63,907.1回】 記事投稿数 32記事 ・令和4年4月1日～令和4年11月15日時点 全体【ユーザー数：35,067ユーザー、ビュー数：391,712ビュー】 平均【月/ユーザー数：5,009.7人、月/ビュー数：55,958.8回】 記事投稿数 32記事 (令和4年11月16日現在)
課題	・地域活動団体(地域自治組織、NPO法人等)同士及び、団体と行政、その他関係機関との関係づくり。 ・地域活動団体の担い手が不足しているため、担い手となる人材の発掘。 ・地域活動団体のスキルアップ。 ○ひとが育つまち益田HPについて ・各部会における取組を掲載及び情報拡散を通して、益田の魅力や活動を届けることが必要。(令和3年度)

	地域の担い手部会：22 記事（連携のまちづくり推進課） 産業の担い手部会：7 記事（産業支援センター2 記事、農林水産課 5 記事） 未来の担い手部会：3 記事 （協働のひとづくり推進課 2 記事、子ども福祉課 1 記事、学校教育課 0 記事）
今後の取組 方針・計画	○地域自治組織を中心とした地域づくりの推進 ・他市の地域づくりの多様な事例から益田市でも活かせることを学ぶことを目的に地域自治組織対象地域づくり勉強会を実施予定。 ・益田市の地域づくり団体の情報共有・活動の底上げにつながるフォーラムを実施予定。 ○地域づくり人養成講座 ・今年度全 5 回開催予定。 ○大学連携 【大正大学】 ・地域実習を終えた大学生各地区の活動に参加中。 ○市民活動支援センター ・団体 PR シートの作成 ・活動支援（助成金、イベント参加） ○ひとが育つまち益田ウェブサイト ・各部会における取組について、事業実施後に速やかに掲載する。 ○豊かな暮らしトークセッション ・東京都でのリアル開催を実施予定 令和 4 年 12 月 17 日（土） ・大阪府でのリアル開催を検討中 ○豊かな暮らしについて考える 2 日 ・東京都でのリアル開催後に実施予定 令和 5 年 1 月 14 日（土）～15 日（日） ○高 3 人生設計カイギ ・市内の高校卒業予定者対象とした益田との関わりについて考える研修会を行う（令和 5 年 1 月～3 月）
特記事項	<u>情報発信に寄与した取り組み</u> ○日経クロストrendにおいて、令和 3 年度関係人口創出事業掲載